

蚕糸試験場日野桑園



蚕業試験場日野桑園 昭和 11 年

仲田の森自然体験広場に隣接して、平成 24 年 3 月にふれあいホールがオープンしました。この一帯は、昭和 3 年（1928）から、農林省蚕業試験場と附属の日野桑園があった場所です。

蚕業試験場は、養蚕・製糸・絹加工に関する試験研究を行なう国の研究機関でした。そのはじめは明治 44 年（1911）5 月、高円寺（杉並区）に造られた農商務省原蚕種製造所です。原蚕種製造所は大正 3 年（1914）に農林省の蚕業試験場と改称、さらに昭和 12 年に蚕糸試験場と改称されました。

日野市域には、仲田に日野桑園が出来るとよりも早く、明治 44～45 年に、石田の源兵衛島（石田 402 番地、現・万願寺 1 丁目）に、万願寺桑園が造られました。万願寺桑園は、高円寺の原蚕種製造所で飼育する蚕のえさとなる桑の葉を栽培するために作られた桑園で、ここから荷馬車で桑を運んでいました。

昭和 3 年に仲田に蚕糸試験場と付属の日野桑園が出来たことで、日野桑園は第一桑園、万願寺桑園は第二桑園と呼ばれるようになりました。また、谷戸上・神明にも土壌研究のための第三桑園がありましたが、ここは昭和 23 年に廃止されました。

日野桑園には、庁舎と第一から第六までの蚕室があり、ここで桑や蚕の品種改良や優良品種の育成など、さまざまな研究が行われていました。敷地内には他に職員の宿舎や寮もあり、最も盛んだった頃には、100 名近い人たちが働いていたといえます。

その後、機構改革により、昭和 55 年に蚕糸試験場が筑波（茨城県つくば市）に移転

するのにもない、日野桑園も閉鎖され筑波に移転しました。

現在仲田の森には、第一蚕室（通称「桑ハウス」）と庁舎の入口基礎がわずかに残り、かつて蚕室を日光の直射から守っていたケヤキの大木などから当時をしのぶことができます。
（日野市郷土資料館 矢口祥有里）

日野桑園小唄

- 1 日野はよいとこ一度はおいで
多摩のほとりに富士山仰ぎ
緑の桑園 緑の桑園
栄えます サノサッサ
- 2 モダンな蚕室朝日に栄えて
蚕糸技術の精粹誇る
蚕糸日本の 蚕糸日本の
日野桑園 サノサッサ



日野桑園内 昭和55年2月 後藤昭夫氏撮影



第二桑園（もと万願寺桑園） 昭和54年4月 野崎稔氏撮影

◎これは「広報ひの」平成25年1月15日号に掲載された記事の詳細版です。

資料館にて印刷したのもも配布しています。

（問）日野市郷土資料館（Tel 042-592-0981）